

プログラム

■ 特別講演

2025年6月6日（金）11：00～12：00

アイヌ文化を次代につなぐ ～ ウレシパの15年 ～

S1-2

座長：北海道大学大学院医学研究院 小児科学教室

教授 真部 淳

演者：札幌大学 地域共創学群
札幌大学アイヌ文化教育研究センター

教授
センター長 本田 優子

■ 教育講演 1

2025年6月6日（金）9：20～10：00

早発型血栓症の診療ガイドライン

～ 周産期からの血栓止血異常の克服にむけて ～

S3-4

座長：浜松医療センター

名誉院長 小林 隆夫

演者：九州大学
福岡市立こども病院臨床研究部

名誉教授
顧問 大賀 正一

■ 教育講演 2

2025年6月6日（金）16：10～16：50

交換輸血したことありますか？

S5-6

座長：東京女子医科大学

教授 田畑 勉

演者：JCHO北海道病院

副院長 長 和俊

■ 教育講演 3

2025年6月6日（金）18：35～19：15

未来につなぐ妊孕性温存療法

S7-8

座長：北海道大学病院 産科・周産母子センター

准教授 馬詰 武

演者：札幌医科大学 産婦人科

准教授 馬場 剛

■ 教育講演 4

2025年6月7日（土）9：00～9：40

血液学からみた移行期医療支援

S9-10

座長：国立病院機構 災害医療センター 小児科

医師 石黒 精

演者：北海道大学病院 小児成人移行期医療支援センター

教授 長 祐子

■ 教育講演 5

2025年6月7日（土）12：50～13：30

新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症 Up to date 第6回全国調査に向けて

S11-12

座長：産業医科大学

名誉教授 白幡 聡

演者：九州大学医学部 環境発達医学研究センター

特任准教授 落合 正行

■ 学術委員会企画シンポジウム

2025年6月6日（金）14：05～16：05

von Willebrand病の診断・治療の向上を目指して

ー 疾患啓蒙と今後の取り組みを考える

座長：宮崎大学医学部附属病院 産科・婦人科

主任教授 桂木 真司

座長：大和高田市立病院

副院長 川口 千晴

「日本ではvon Willebrand病はまれな疾患なのか？」

S13-14

演者：北海道大学病院 検査・輸血部

助教 安本 篤史

「産婦人科臨床における出血症状の観点から」

S15-16

演者：浜松医科大学 産婦人科

特任講師 小田 智昭

「診断関連検査（VWF活性、マルチマー解析、遺伝子検査）の観点から」

S17-18

演者：奈良県立医科大学 小児科

教授 野上 恵嗣

「止血治療・予防の観点から」

S19-20

演者：聖マリアンナ医科大学 小児科

准教授 長江 千愛

■ シンポジウム 1

2025年6月7日（土）9：45～11：25

新生児の骨髄性白血病／骨髄増殖性疾患

座長：愛媛大学大学院医学系研究科小児科学

教授 江口真理子

座長：地域医療振興協会 練馬光が丘病院 小児科

顧問 細野 茂春

「小児におけるMYB::GATA1陽性白血病」

S21-22

演者：旭川医科大学病院 腫瘍センター／小児科

講師 更科 岳大

「RBM15::MRTFA陽性急性巨核芽球性白血病」

S23-24

演者：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
小児医療センター血液腫瘍科

部長 濱 麻人

「Down症候群と一過性骨髄異常増殖症（TAM）」

S25-26

演者：聖路加国際病院 小児科

医長 長谷川大輔

「Noonan症候群関連骨髄増殖性疾患の臨床像」

S27-28

演者：北海道大学病院 小児科

診療講師 平林 真介

「CBL変異を伴う若年性骨髄単球性白血病の臨床および分子的特徴の解析」

S29-30

演者：名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学

准教授 村松 秀城

■ シンポジウム 2

2025年6月7日（土）9：00～10：20

産科緊急輸血

座長：医療法人 葵鐘会 産婦人科
順天堂大学医学部 産婦人科

顧問 板倉 敦夫
客員教授

座長：東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科・輸血部

教授 田中 朝志

「産科での輸血療法に関する実態調査」

S31-32

演者：東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科・輸血部

教授 田中 朝志

「産科出血に備えた自己血貯血 ～当科における現状と課題～」

S33-34

演者：関西医科大学附属病院 女性診療科

非常勤講師 神谷 亮雄

「希少血液型妊婦の緊急輸血に対する対応」

S35-36

演者：順天堂大学医学部 産婦人科

助教 熊谷 麻子

「地方における輸血供給不足が周産期管理に与える影響」

S37-38

演者：宮崎大学医学部 産科・婦人科

助教 松澤 聡史

■ ワークショップ

2025年6月7日（土）13：40～14：55

早産児のTREC低値にどう対応するか？

座長：JCHO北海道病院

副院長 長 和俊

座長：奈良県立医科大学 小児科

講師 石原 卓

「TRECを用いた原発性免疫不全症スクリーニング」

S39-40

演者：酪農学園大学 農食環境学群 食と健康学類 医学・生理学研究室

教授 山田 雅文

「早産児におけるTREC低値の問題点」

S41-42

演者：奈良県立医科大学 小児科

講師 石原 卓

「早産児におけるTREC低値への対応（全国アンケート調査の結果報告）」

S43-44

演者：浜松医科大学 周産母子センター

講師 大石 彰

■ ランチョンセミナー 1

2025年6月6日（金）12：15～13：15

血液検査から見た臨床遺伝

座長：大阪母子医療センター

演者：北海道大学病院 臨床遺伝子診療部

共催：ミヤリサン製薬株式会社

副院長 和田 和子

教授・部長 山田 崇弘

■ ランチョンセミナー 2

2025年6月6日（金）12：15～13：15

産科危機的出血における止血戦略を再考する

座長：東京都立墨東病院 産婦人科

演者：浜松医科大学 医学部 産婦人科地域医療学講座

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

責任部長 兵藤 博信

特任講師 小田 智昭

■ ランチョンセミナー 3

2025年6月7日（土）11：40～12：40

凝固反応を制御できるか？血栓止血のアクセルとブレーキ

座長：北海道大学大学院医学研究院 小児科学教室

演者：九州大学医学研究院 周産期・小児医療学

共催：武田薬品工業株式会社

教授 真部 淳

講師 石村 匡崇

■ ランチョンセミナー 4

2025年6月7日（土）11：40～12：40

なぜ、今、赤ちゃんの頭のかたち？

座長：九州大学

名誉教授（前 成長発達医学／小児科） 大賀 正一

演者：東京都市大学 人間科学部

0歳からの頭のかたちクリニック

共催：株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー

特任教授
診療顧問 草川 功

■ 優秀演題賞候補演題

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題 番号	査読	所 属	氏 名	演 題 名	ページ
優秀演題賞（真木賞）選定セッション					
6月6日（金）17：00～18：30 第1会場					
座長：森川 守 関西医科大学医学部 産科学・婦人科学講座 中沢 洋三 信州大学医学部 小児医学教室					
E1		日本赤十字社医療センター 新生児科	江口 脩	致死的経過を辿ったエコーウイルス11型によるウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症の早産児	S45-46
E2		済生会山形済生病院 小児科	松内 祥子	網赤血球比率と網赤血球ヘモグロビン等量を用いた新生児期の鉄動態評価の試み	S47-48
E3		兵庫県立こども病院 周産期医療センター 新生児内科	小林 孝生	新生児遅発型敗血症における血球測定の意義- マッチドケースコントロール研究	S49-50
E4	○	兵庫県立こども病院 周産期医療センター 新生児内科	松島 愛香	三次周産期医療施設に入院した新生児における院内分割製剤使用による供血者数の削減	1-2
E5		神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学分野	増田 祐	妊娠前の母体肥満は生下時の新生児ビタミンK欠乏の独立したリスク因子である。	S51-52
E6		大阪公立大学医学部 女性生涯医学	柴田 悟	免疫性血小板減少症合併妊娠の新規マウスモデルを用いたトロンボポエチン受容体作動薬の影響の検討	S53-54

■ 一般演題

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題 番号	査読	所 属	氏 名	演 題 名	ページ
一般演題 ① 産婦人科 1					
6月6日（金）10：05～10：55 第1会場					
座長：桂木 真司 宮崎大学医学部附属病院 産科・婦人科					
1		大阪公立大学 産婦人科	川島 皓雄	汎血球減少を伴うビタミンB12欠乏症合併妊娠の一例	S55-56
2		札幌医科大学 産婦人科学講座	新開 翔太	原因不明の凝固因子欠乏から妊娠終結を選択し、後にvon Willebrand病と診断された一例	S57-58
3		浜松医療センター 産婦人科	戸田 晴菜	先天性血小板減少症合併妊娠に対して血小板輸血を行いながら帝王切開術を施行した1例	S59-60
4		独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 産婦人科	吉田 瑞穂	PPHと凝固障害-1：常位胎盤早期剥離症例を用いた分娩後異常出血における血尿判別式の妥当性の確認	S61-62
5		独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 産婦人科	多田 克彦	PPHと凝固障害-2：FDPの上昇しない分娩後異常出血症例の血液検査および臨床データの特徴	S63-64

一般演題 ② 小児科 1					
6月6日（金）9：20～10：00 第2会場					
座長：北東 功 聖マリアンナ医科大学病院 新生児科					
6		九州大学病院 小児科	藤川 諒太	出生直後からの無呼吸と新生児DICで発症し、早期治療を要したII型Gaucher病の1例	S65-66
7	○	大阪大学大学院 医学系研究科小児科	川谷 圭司	上部小腸閉鎖症に伴う臍帯潰瘍からの出血によりHb 4g/dL未満で出生し救命可能であった2症例の予後	3-4
8		聖マリアンナ医科大学病院 小児科	小町 詩織	新鮮凍結人血漿の投与は新生児DICの予後を改善するのか	S67-68
9		奈良県立医科大学 新生児集中治療部	利根川 仁	新生児仮死に伴うDICと線溶亢進	S69-70

一般演題 ③ 小児科 2					
6月6日（金）10：05～10：55 第2会場					
座長：西久保敏也 奈良県赤十字血液センター 医務課					
10	○	神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野	奥野 結衣	重症仮死に伴った無症候性脳静脈洞血栓症の1例	5-6
11		岩手医科大学医学部 小児科	三浦 翔子	動脈血栓症を合併した先天性プロテインS欠乏症の一例	S71-72
12		北海道立子ども総合医療・療育センター 新生児内科	政木 明子	先天性重症プロテインC欠乏症患者における乾燥濃縮人プロテインC製剤の使用経験	S73-74
13		宮崎大学医学部附属病院 小児科	楯 真由美	先天性アンチトロンピン欠乏症母体から緊急帝王切開で出生し予防的補充を行った新生児	S75-76
14	○	北海道大学病院 周産母子センター	松元 献	肺塞栓症に対してウロキナーゼで血栓溶解療法を行った極低出生体重児の一例	7-8

演題 番号	査読	所 属	氏 名	演 題 名	ページ
一般演題 ④ 産婦人科 2					
6月6日（金）11：00～11：50 第2会場					
座長：金井 誠 信州大学医学部 保健学科					
15		奈良県総合医療センター 産婦人科	佐道 俊幸	心肺虚脱型羊水塞栓症による心肺停止妊婦に死線期帝王切開術を行った1例	S77-78
16	○	大阪市立総合医療センター 産科	飛田 真由	血栓塞栓症を発症した全前置胎盤の妊婦に対し、下大静脈フィルター留置後に帝王切開を行った1例	9-10
17	○	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立墨東病院 産婦人科	新田 慧	肝被膜下血腫を伴ったHELLP症候群に対して保存的加療できた一例	11-12
18	○	大阪市立総合医療センター 産科	角谷 美咲	分娩後異常出血に対して輸血を行い、輸血関連急性肺障害をきたした一例	13-14
19		浜松医科大学 産婦人科	小田 智昭	In vitroモデルを用いた羊水塞栓症の血液凝固障害に寄与する因子の検討	S79-80

一般演題 ⑤ 小児科 3					
6月6日（金）14：05～14：55 第2会場					
座長：郷 勇人 福島県立医科大学 小児科					
20		奈良県立医科大学 小児科	石原 卓	乳児急性リンパ性白血病3例における化学療法早期相の凝固／線溶動態	S81-82
21		旭川医科大学病院周産母子センター 新生児科	岡本 年男	一過性骨髄異常増殖症と臨床診断されなかったダウン症候群児の乾燥臍帯を用いたGATA1遺伝子解析	S83-84
22		福島県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター 新生児部門	宗像 未来	胎児水腫、貧血、血小板減少を呈した新生児ヘモクロマトーシスの早産極低出生体重児例	S85-86
23	○	北海道大学病院 周産母子センター	川畑 歌穂	ステロイドとプロプラノロール内服治療が奏功した肝巨大血管腫の低出生体重児例	15-16
24	○	旭川医科大学周産母子センター 新生児科	青山 藍子	血球貪食性リンパ組織球症を発症し、急激な経過で死亡した18トリソミーの2例	17-18

一般演題 ⑥ 周産期					
6月6日（金）15：00～15：50 第2会場					
座長：池田 智明 三重大学 名誉教授					
25	○	信州大学医学部 産科婦人科学教室	渡辺 大智	急性骨髄性白血病合併妊娠に対して化学療法を施行し、死産に至った1例	19-20
26	○	宮崎大学医学部附属病院 産婦人科	川越 万菜	胎児パルボウイルスB19感染による胎児水腫が自然軽快した1例	21-22
27		長崎大学病院 産婦人科	志田泰一朗	胎児機能不全に対して緊急帝王切開術後、新生児死亡した原因について母児間輸血症候群が疑われた1例	S87-88
28		奈良県立医科大学 小児科	古川 晶子	母体に投与したEmicizumab の経胎盤移行に関する検討	S89-90
29		Johnson & Johnson, Global Clinical Development, Maternal-Fetal Immunology	小松 要介	胎児・新生児の重症溶血性疾患の早期発症リスクが高い妊婦におけるnipoicalimabの安全性及び有効性：第2相UNITY試験の結果	S91-92

演題 番号	査読	所 属	氏 名	演 題 名	ページ
一般演題 ⑦ 産婦人科 3					
6月6日（金）15：55～16：55 第2会場					
座長：松永 茂剛 埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター					
30		埼玉医科大学病院 産婦人科	山口 哲	クリステレル子宮底圧迫法補助下器械遂娩術後に生じた腹腔内出血の一例	S93-94
31	○	奈良県総合医療センター 産婦人科	佐川 翔子	分娩後異常出血に対する子宮動脈塞栓術後に子宮壊死を呈した2症例	23-24
32		三重大学医学部 産科婦人科	高倉 翔	当院における弛緩出血に対する子宮内バルーンタンポナーデの使用経験	S95-96
33		医療法人社団中林病院 産婦人科	中林 靖	計画無痛分娩においてPROPESSによる人工破膜を減らす試み	S97-98
34		順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研修センター	池田まりあ	産褥貧血における輸血、高用量鉄剤の有効性の比較	S99-100
35		順天堂大学医学部 産婦人科	平山雄一郎	IVIG療法を行った特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠における適切な分娩誘発のタイミングに関する検討	S101-102

一般演題 ⑧ 産婦人科 4					
6月7日（土）10：25～11：15 第2会場					
座長：兵藤 博信 東京都立墨東病院・産婦人科					
36	○	奈良県総合医療センター 産婦人科	渡邊こころ	先天性アンチトロンビン欠乏症を疑い遺伝学的検査を行った3例	25-26
37	○	宮崎大学医学部附属病院 産婦人科	當瀬ちひろ	先天性アンチトロンビン欠乏症合併妊娠の1例	27-28
38	○	市立札幌病院 産婦人科	安田 真子	第1子・第2子の妊娠中に抗凝固療法を行った先天性アンチトロンビン欠損症	29-30
39		順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科	瀬山 理恵	当院でのフィブリノゲン製剤の使用例における産科DICスコア別の病態の検討	S103-104
40		日本産婦人科・新生児血液学会	森川 守	わが国の新旧産科DIC診断基準と新鮮凍結血漿、フィブリノゲン製剤、アンチトロンビン製剤の投与状況	S105-106

一般演題 ⑨ 小児科 4					
6月7日（土）12：50～13：40 第2会場					
座長：兼次 洋介 北海道大学病院周産母子センター NICU					
41	○	福井大学医学部附属病院 小児科	田中 梨乃	遺伝性熱変形赤血球症の病態把握に遺伝子解析が有用であった新生児例	31-32
42	○	公益財団法人星総合病院 小児科	安藤 真有	新生児黄疸の治療を要し、乳幼児期に感染症を反覆している遺伝性球形赤血球症の孤発例	33-34
43	○	手稲渓仁会病院 小児科	金 潔駿	母体由来抗E抗体に起因する晩期貧血に対してエリスロポエチン製剤が有効であった新生児の2例	35-36
44	○	聖マリアンナ医科大学病院 小児科	大山 玲子	部分交換輸血後に輸血関連呼吸困難（TAD）を発症したと考えられる重症新生児仮死の一例	37-38
45	○	兵庫医科大学 小児科学	宇都宮 剛	NDBオープンデータを用いた交換輸血の疫学	39-40

演題 番号	査読	所 属	氏 名	演 題 名	ページ
一般演題 ⑩ 小児科 5					
6月7日（土）13：45～14：35 第2会場					
座長：坂井 拓朗 札幌医科大学附属病院 産科周産期科					
46		福島県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター 新生児部門	前田 創	在胎30週未満の早産児の血小板パラメーターと未熟児網膜症の関連についての検討	S107-108
47		聖マリアンナ医科大学病院 小児科	鈴木 真波	当院における体重1500g未満の児に対してCOX阻害薬を投与する際に影響する血小板数の検討	S109-110
48	○	香川大学医学部 小児科	横田 崇之	未熟児貧血に対するエリスロポエチン製剤投与に伴う血小板増加について	41-42
49	○	聖マリアンナ医科大学病院 小児科	飛田 睦	当院における在胎30週から36週の早産児における鉄剤投与の現状	43-44
50	○	東京女子医科大学 産婦人科	田中利蓉子	膠原病合併妊娠における抗核抗体が関与する新生児合併症に関する検討	45-46